

第166回北海道歯科技工学術研修会報告

2023年10月7日（土）、北海道歯科技工士会館において第166回北海道歯科技工学術研修会をハイブリッド形式で開催いたしました。

講演Ⅰでは高瀬 直氏に「デジタル時代における咬合精度向上の可能性～周知すべき咬合の基礎最前線～」の演題で講演していただきました。近年、デジタルデンティストリーが主流化し、IOSの普及拡大に伴うモデルレス技工の需要が増加している中、バーチャル咬合器の効果的な活用方法及びIOSのバイトエラー原因と対策、そして近代最前線咬合理論の基礎について、詳しく解説していただきました。

講演Ⅱでは、横田 浩史氏に「ペイント番長の3回焼成ステイン法～再製を減らす～」の演題で講演していただきました。ステイン法の基礎とルールのお話をされるとともに、アナログで培った歯科技工士としての感覚や感性をデジタルにどのように移行し二刀流（アナログ&デジタル）とするか、そして基本に立ち返り表面ステイン法で「再製を減らす」ためのテクニックを、臨床症例を交えながら伝授していただきました。お二人とも大変貴重な講演をしていただきました。

今回の研修会は会場を設けての実施と共にとオンラインでも配信するハイブリッド形式で行いましたが、会場にもオンラインにも道内に限らず道外からご参加いただきました。会員の皆様のご協力に感謝申し上げます。

